

AKAI[®]
PROFESSIONAL

MPC LIVE II

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

特徴：

- コンピューター不要のスタンドアロン動作
- モニタースピーカー内蔵
- 7インチ高解像度マルチタッチ・ディスプレイ
- ペロシティ対応 RGB バッド x16
- 内蔵リチウムイオン電池
- MPC ソフトウェアのコントローラーとして動作
- フォノ/ラインレベル入力
- 3 系統のステレオ出力 (モノ 6 系統)
- 2 系統の 5 ピン MDI 入出力
- 2GB RAM、16GB のオンボード・ストレージ
- SD カードスロット
- ユーザーが拡張可能な 2.5 インチ SATA ドライブコネクタ (SSD または HDD)
- USB メモリー/MIDI コントローラー用の 2 基の USB-A 3.0 スロット
- 4 基の TRS CV/Gate ジャック (合計 8 出力)
- Wi-Fi および Bluetooth 対応
- Ableton Link 対応

同梱品

MPC Live II 本体
電源アダプター
USB ケーブル

ソフトウェアダウンロード・カード(英文)
クイックスタートガイド/保証書

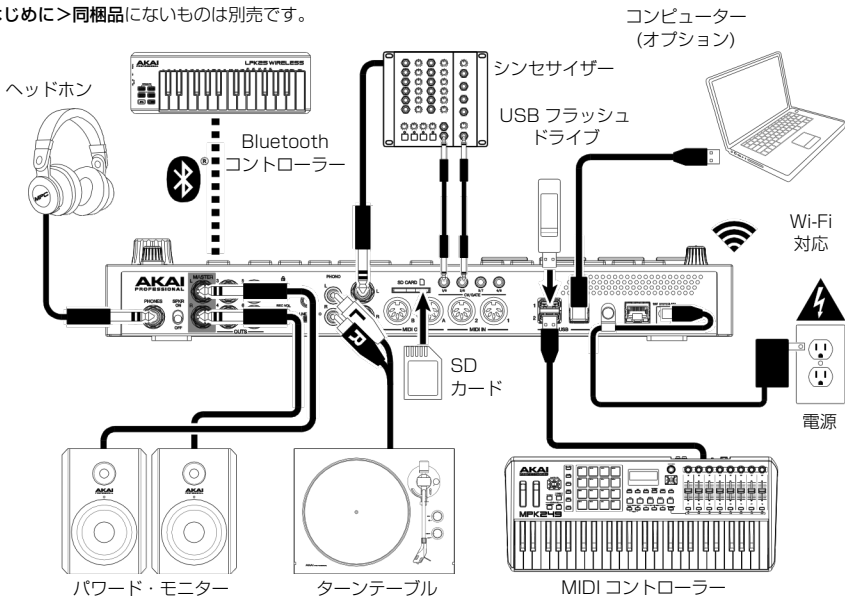
重要： akaipro.com にアクセスし、MPC Live II の Web ページでユーザーガイドをダウンロードしてください。

サポート

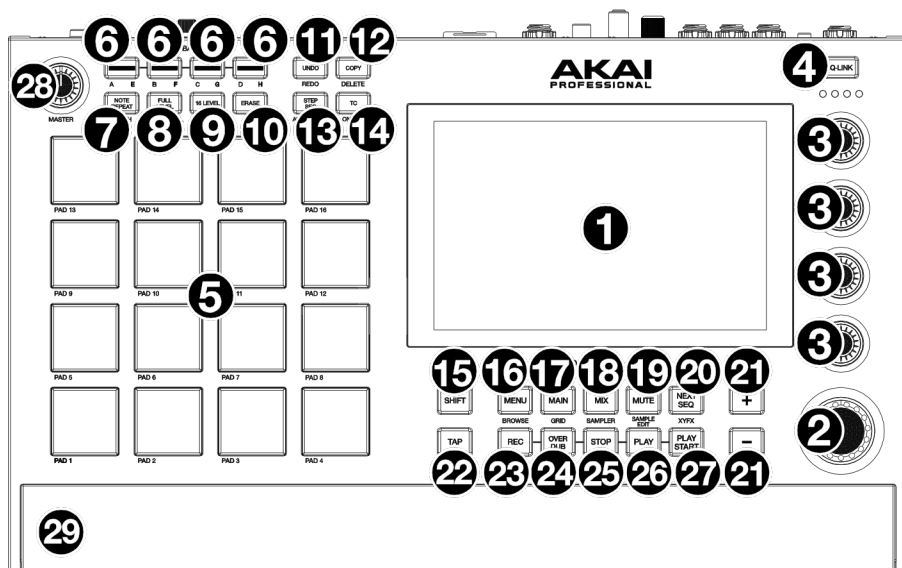
この製品に関する最新情報 (ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など) については、akaipro.com をご覧ください。
製品サポートについては、inmusicbrands.jp/support をご覧ください。

接続図

はじめに>同梱品にないものは別売です。



トップパネル



1. **ディスプレイ**：フルカラー・マルチタッチディスプレイは、MPC Live IIの現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイに触れて（ハードウェア・コントロールを使用して）MPC インターフェースをコントロールします。いくつかの基本的な機能を使用する方法については、**操作**の項目を参照してください。
2. **データダイヤル**：このダイヤルを回すと、利用可能なメニューオプションをスクロール、またはディスプレイ内の選択したフィールドのパラメーター値を調整できます。
3. **Q-Link ノブ**：これらのタッチセンサー式ノブを回して、さまざまなパラメーターや設定を調整します。ノブは、一度に 1 つのパラメーターの列を制御できます。Q-Link ノブの上にあるライトは、現在選択されている列を示します。これらの上の **Q-Link ボタン** を押して、現在制御しているパラメーターの列を変更します。
4. **Q-Link ボタン**：Q-Link ノブが現在コントロールしているパラメーターの列を変更します（Q-Link ノブの上のライトで示されます）。ボタンを押すたびに次の列が選択されます。
SHIFT キーを押したままこのボタンを押すと、前の列が選択されます。
5. **パッド**：これらのパッドを押して、ソフトウェアのドラムヒットやその他のサンプルをトリガーします。パッドはベロシティ感知、および感圧式であり、演奏に対して即座に反応するため直感的な演奏が行なえます。パッドは、演奏する強さに応じて、さまざまな色に点灯します（低ベロシティ時の黄色から高ベロシティ時の赤まで）。また、点灯する色はカスタマイズすることもできます。
6. **パッドバンクボタン**：これらのいずれかのボタンを押してパッドバンク A - D にアクセスします。SHIFT キーを押しながらこれらのボタンを押すと、パッドバンク E - H にアクセスできます。もしくは、これらのボタンを 2 度押します。
7. **NOTE REPEAT/LATCH**：このボタンを押しながらパッドを押すと、パッドのサンプルが繰り返しトリガーされます。繰り返される速度は現在のテンポと Timing Correct の設定に基づいています。
SHIFT キーを押したままこのボタンを押すと、ノートリピート機能が「ラッチ」されます。ラッチ時には、NOTE REPEAT ボタンを押し続ける必要はありません。NOTE REPEAT ボタンをもう一度押すと、ラッチが解除されます。

8. **FULL LEVEL/HALF LEVEL** : このボタンを押すと、フルレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、演奏する強さに関わらず、パッドは常に最大ベロシティー (127) でサンプルをトリガーします。
SHIFT キーを押したままこのボタンを押すと、ハーフレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、パッドは常にサンプルを半分のベロシティー (64) でトリガーします。
9. **16 LEVEL** : 16 レベル機能を有効/無効化します。有効時には、最後にヒットしたパッドがすべての 16 個のパッドに一時的にコピーされます。パッドは元のパッドと同じサンプルを再生しますが、使用する力の大きさにかわらず、パッド番号ごとに選択可能なパラメーターの値が増加します。
SHIFT を押しながらこのボタンを押してパッドの Notes モードのオン/オフを切り替えます。オンにするかどうかのモードでもパッドを使用してスケール/モード、コード、プログレッションの演奏ができます。パッドの設定には Pad Performance モードを使用します。
10. **ERASE** : シーケンスが再生されているときに、このボタンを押したままパッドを押すと、現在の再生位置のパッドのノートイベントが削除されます。これにより、再生を停止することなくシーケンスからノートイベントを簡単に削除できます。再生が停止しているときにこのボタンを押すと、ERASE ウィンドウが開きノート、オートメーション、その他のシーケンスデータをシーケンスから消去することができます。詳細はユーザーガイドをご参照ください。
11. **UNDO/REDO** : 最後の操作が取り消されます。SHIFT キーを押したままこのボタンを押すと、元に戻した最後の操作がやり直されます。
12. **COPY/DELETE** : このボタンを押すと、パッドからパッドへのコピーが簡単に行えます。最初に **FROM PAD** フィールドを選択し、コピーしたいパッドを押します (緑点灯)。次に **TO PAD** フィールドをタップして選択後に、コピー先のパッドを押します (赤点灯)。この時、複数のコピー先パッドを選択したり、異なるパッドバンクのパッドを選択することも可能です。決定/コピーするには **DO IT** をタップします。前の画面に戻るには **CLOSE**、または **CANCEL** をタップします。
DELETE する場合は、SHIFT キーを押しながらこのボタンを押します。削除したいパッドを指定して **DO IT** をタップすると削除されたパッドは空になります。
13. **STEP SEQ/AUTOMATION** : このボタンを押すと Step Sequencer モードが表示され、パッドをステップ・ボタンとして使用してシーケンスを作成したり編集したりすることができます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押して、グローバル・オートメーションの状態を **Read** と **Write** の間で切り替えます。
14. **TC/ON/OFF** : このボタンを押すと、シーケンス内のイベントをクオンタイズするための設定を行なう Timing Correct ウィンドウが開きます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、Timing Correct (タイミング補正)のオン/オフができます。
15. **SHIFT** : このボタンで各ボタンのサブ機能 (グレー表示) にアクセスします。
このボタンを 2 度押しすると、サブ機能を持つボタンが表示されます。ボタンは数秒間点滅します。
16. **MENU/BROWSE** : モード・メニューが開きます。メニュー画面でオプションをタップすると、そのモードに入ったり、表示したりすることができます。
SHIFT キーを押したままこのボタンを押すと、ブラウザーが表示されます。ブラウザーを使用して、プログラム、サンプル、シーケンスなどを検索したり、選択することができます。
17. **MAIN/GRID** : このボタンを押して Main モードに入ります。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと Grid View モードになります。
18. **MIX/SAMPLER** : このボタンを押すと最後に使用した Mixer モード (Track Mixer (デフォルト) または Pad Mixer) が表示されます。Track Mixer モードではトラック、プログラム、リターン、サブミックス、マスター・レベル、ステレオ・パン、その他の設定を行うことができます。Pad Mixer モードではプログラム・レベル、ステレオ・パンニング、ルーティング、エフェクトを設定できます。ボタンを押すと 2 つの Mixer モードが切り替わります。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、プロジェクトで使用できるオーディオをサンプリングできる Sampler (サンブラー) が表示されます。

19. **MUTE/SAMPLE EDIT**：このボタンを押すと、最後に使用した Mute モード (Track Mute (デフォルト) または Pad Mute) が表示されます。Track Mute モードでは、シーケンス内のトラックをミュートしたり、トラックごとにミュートグループを設定したりすることができます。Pad Mute モードでは、プログラム内のパッドをミュートしたり、プログラム内のパッドごとにミュートグループを設定することができます。ボタンを押すと 2 つの Mute モードが切り替わります。

SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、さまざまな処理やサンプル編集が可能な Sample Edit モードに入ります。

20. **NEXT SEQ/XYFX**：このボタンを押すとパッドを弾くだけで異なるシーケンスをトリガーできる Next Sequence モードが表示されます。これはライブパフォーマンス時に便利な機能で、リアルタイムで曲の構成を変更することができます。

SHIFT を押しながらこのボタンを押すとタッチスクリーンの各軸がエフェクトパラメーターの範囲を表す XY パッドになる XYFX モードが表示されます。タッチスクリーン上で指を動かすと、指の位置が 2 つのパラメータの値となります。このモードでトラックに面白いエフェクト・オートメーションを適用することができます。

21. **-/+**：ディスプレイで選択したフィールドの値を増減します。

22. **Tap TEMPO/MASTER**：希望のテンポに合わせてこのボタンを押すことで、ソフトウェアに新しいテンポ (BPM) を入力することができます。

SHIFT キーを押しながらこのボタンを押して、選択中のシーケンスのテンポに従うか (ボタンがオレンジ色に点灯)、マスターテンポに従うか (ボタンが赤く点灯) を設定します。

23. **REC**：シーケンスの録音準備をするには、このボタンを押します。**PLAY** または **PLAY START** を押して録音を開始します。(OVERDUB を使用するのではなく) この方法で録音すると現在のシーケンスのイベントは消去されます。録音中にシーケンスが一度再生されると、オーバーダビングが有効になります。

24. **OVERDUB**：オーバーダブを有効にします。以前に録音したイベントを上書き削除することなく、新たなイベントを重ねてシーケンスに録音することができます。オーバーダブは、録音の前または途中で有効にすることができます。

25. **STOP**：再生を停止します。2度押しした場合には、ノートの再生停止後に鳴り終わっていないオーディオを消すことができます。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと再生を停止し、再生ヘッドを 1:1:0 に戻します。

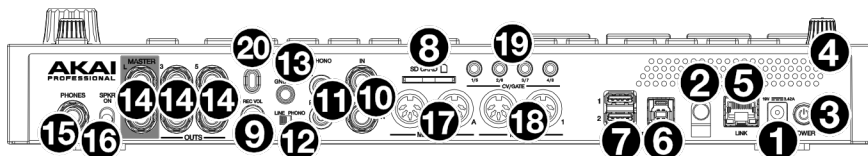
26. **PLAY**：再生ヘッドの現在の位置からシーケンスが再生されます。

27. **PLAY START**：シーケンスが開始点から再生されます。

28. **MASTER ボリュームノブ**：OUTPUT (出力)、ヘッドホン出力、スピーカーの音量を調節します。

29. **スピーカー**：リアパネルの **SPEAKER** スイッチがオンに設定されている場合、スピーカーはオーディオを再生します。スピーカーの音量は、**MASTER ボリュームノブ**で調整します。

リアパネル



1. **電源入力**：付属の電源アダプターを使用し、MPC Live II を電源コンセントに接続します。
2. **ケーブル・フック**：電源アダプターのケーブルをこのフックに固定して、誤ってプラグが抜けないようにします。
3. **電源スイッチ**：MPC Live II の電源をオンまたはオフにします。
4. **充電インジケータ**：MPC Live II の内蔵バッテリーが充電されているとき (電源入力コンセントに接続されているとき)、このライト (排気口の後ろ) が点灯します。バッテリーが完全に充電されているとき、または電源コンセントから外されているときはこのライトは消灯します。

5. **LINK**：標準的なイーサネット・ケーブルをこのポートに接続して、Ableton Link やその他互換性のある機器を MPC Live II で使用することができます。詳細についてはユーザーガイドをご参照ください。

注：Ableton Link は Wi-Fi 接続でもワイヤレスで使用できます。詳細についてはユーザーガイドをご参照ください。

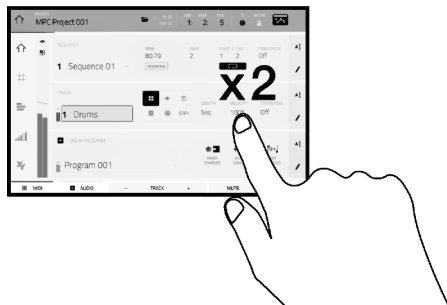
6. **USB-B ポート**：付属の **USB ケーブル**を使用してお使いの**コンピューターと接続**します。これにより MPC Live II はコンピューター上の MPC ソフトウェアと、MIDI データ及びオーディオデータを送受信できるようになります。
7. **USB-A ポート**：USB フラッシュドライブをこれらの USB ポートに接続して、MPC Live II で直接ファイルにアクセスします。Controller モードでコンピューターに接続すると、コンピューターからこのポートに接続されたドライブにアクセスすることができます。また、このポートに標準 MIDI コントローラーを接続することもできます。
8. **SD カードスロット**：標準の SD/SDHC/SDXC カードをこのスロットに挿入して、MPC Live II で直接ファイルにアクセスします。
9. **REC VOL**：INPUT (入力)の音量を調節します。
10. **INPUT (入力) (1/4 インチ/6.35mm)**：これらの入力をオーディオソース (マイク、ミキサー、シンセサイザーなど) に接続するには、標準の 1/4 インチ (6.35 mm) の TRS ケーブルを使用します。サンプル録音モードでは、いずれかのチャンネルをステレオで録音するか、または両方のチャンネルをモノラルで録音するかを選択できます。これらの入力を使用するには、Line/Phono スイッチを Line に設定します。
11. **INPUT (入力) (RCA)**：これらの入力をターンテーブルのようなフォノレベルのオーディオソースに接続するには、標準の RCA ステレオケーブルを使用します。サンプル録音モードでは、いずれかのチャンネルをステレオで録音するか、または両方のチャンネルをモノラルで録音するかを選択できます。これらの入力を使用するには、**LINE/PHONO スイッチ**を **PHONO** に設定します。
12. **LINE/PHONO スイッチ**：使用する入力に応じて、このスイッチを適切な位置に設定します。RCA 入力を使用している場合は、このスイッチを PHONO に設定して、フォノレベル信号に必要な追加増幅を行いません。CD プレイヤーや、サンプラーなど、1/4 インチ (6.35mm) 入力を使用している場合は、このスイッチを **LINE** に設定します。
13. **アース端子**：アース線付きのフォノレベルのターンテーブルを使用する場合は、アース線をこれらの端子に接続してください。「ハム」や「バズ」が発生している場合、ターンテーブルが接地されていない可能性があります。
- 注**：一部のターンテーブルには RCA 接続にアース線が組み込まれています。その場合には、特にアース端子には何も接続する必要はありません。
14. **OUTPUT (出力) (1/4 インチ/6.35mm)**：これらの出力をモニター、ミキサーなどに接続するには、標準の 1/4 インチ (6.35 mm) TRS ケーブルを使用します。Master L/R 出力は、**Outputs 1、2** と同じです。
15. **PHONES (1/4 インチ/6.35mm)**：標準の 1/4 インチ (6.35mm) ステレオヘッドフォンをこの出力に接続します。
16. **SPEAKER ON/OFF**：MPC Live II 内蔵スピーカーのオン/オフを切り替えます。
17. **MIDI IN**：この入力を外部 MIDI 機器 (シンセサイザー、ドラムマシンなど) の MIDI 出力に接続するには、標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用します。
18. **MIDI OUT**：この出力を外部 MIDI 機器 (シンセサイザー、ドラムマシンなど) の MIDI 入力に接続するには、標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用します。
19. **CV/Gate 出力**：CV/Gate 信号を外部シーケンサーに送信します。標準の 1/8 インチ (3.5 mm) TS ケーブルを使用して 1 つの出力につき 1 系統の CV/Gate 信号を送信する方法と、ステレオ TRS - デュアル・モノ TSF プレークアウト・ケーブル (Hosa YMM-261 など) を使用して 1 つの出力につき 2 系統の CV/Gate 信号を送信する方法があります。
20. **ケンジントン® ロック スロット**：このスロットで MPC Live II をテーブルなどに固定することができます。

操作

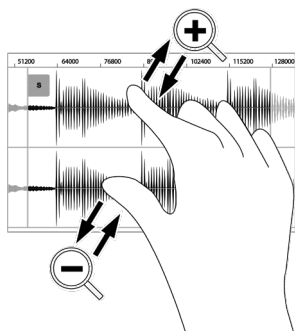
ここでは、MPC Live IIのディスプレイの基本的な使用方法について紹介します。



ボタンまたはオプションをタップして選択します。
データダイヤルまたは-/+ボタンを使用して、設定または値を変更します。



ボタンをダブルタップすると、高度な編集オプションにアクセスできます。場合によっては、値を入力するためのテンキーパッドが表示されます(データダイヤルや-/+ボタンの代わり)。ディスプレイの左上の部分をつまんで、前の画面に戻ります。



2本の指を広げて拡大します(波形の一部分など)。二本指をつまんで縮小します。



ディスプレイの上にはツールバーが表示されます。ツールバーには現在のビューに関する情報(現在のトラック、シーケンス、オーディオ・ポインターの位置など)が含まれます。項目をタップして選択します。

ディスプレイの下部には現在のビューで使用できるさまざまなボタンが表示されます。タップしてボタンを押します。

前のビューに戻るには、現在表示されているウィンドウの外側をタップするか、ディスプレイ左上の左矢印(←)をタップします。

付録

技術仕様

パッド	ペロシティー、感圧式パッド、RGB バックライト x 16 バンクアクセス可能（パッドバンク経由）x 8
ノブ	360° タッチセンシティブ Q-Link ノブ x 4 Q-Link ボタンで列アクセス可能な Q-Link ノブ x 4 360° ディスプレイ・ナビゲーション用、プッシュ選択機能付きエンコーダー x 1
ボタン	専用機能ボタン: 赤、オレンジ、または緑色バックライト x 27
ディスプレイ	6.9 インチ / 176 mm（対角） 5.9 インチ x 3.7 インチ / 150 x 93 mm（幅 x 高さ） タッチ・インターフェイス付き フルカラー LED バックライト付ディスプレイ
CPU	プロセッサ ：クアッドコア ARM® プロセッサー RAM ：2 GB ストレージ ：16 GB、SATA 接続で拡張可能
端子	1/4 インチ (6.35 mm) TRS 入力 (1 ステレオペア) x 2 1/4 インチ (6.35 mm) TRS 出力 (3 ステレオペア) x 6 1/4 インチ (6.35 mm) ステレオヘッドフォン出力 x 1 RCA 入力 (1 ステレオペア) x 2 5 ピン MIDI 入力 x 2 5 ピン MIDI 出力 x 2 ステレオ CV/Gate 出力 x 4 イーサネットリンク・ポート x 1 USB Type-A ポート x 2 USB Type-B ポート x 1 SD カードスロット x 1 電源アダプター入力 x 1
電源	電源アダプター経由 ：19 V、3.42 A、センタープラス-(付属) バッテリー経由 ：リチウムイオン、充電式、連続稼働時間最大 4 時間
サイズ (w x d x h)	411.5 x 243.8 x 45.7 mm
重量	3.38 kg

仕様は予告なく変更する場合があります。

商標とライセンス

Akai Professional 及び MPC は、inMusic Brands, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Ableton は Ableton AG の商標です。

ARM は、EU およびその他の地域における ARM Limited (またはその子会社) の登録商標です。すべての権利は留保されています。

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり Akai Professional がこれらのマークを使用する場合はライセンスに基づいています。

Kensington および K & Lock ロゴは、ACCO Brands の登録商標です。

SD、SDHC、SDXC は SD-3C, LLC の登録商標です。

その他すべての製品名、会社名、商標、商号は、それぞれの所有者に帰属します。

本製品には、ライセンスに基づいて使用されている技術が含まれています。

詳細については、akaipro.com/product-legal をご覧ください。

